

3/5 2024 暮らしになる勉強会

ミーティング 時間 18:30 ~ 20:30 場所: オンライン

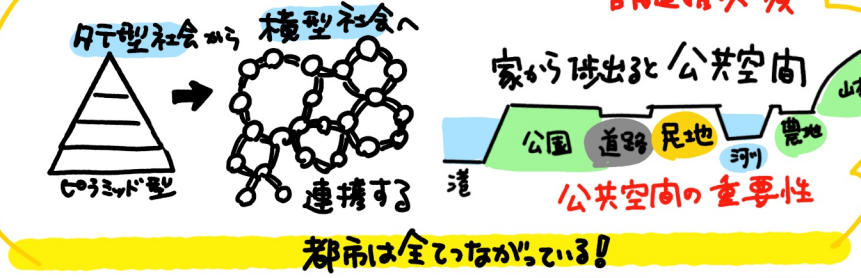


~社会実験から 未来の公共空間を創造する~

講師 15年前に来日 韓国釜山出身 宋俊煥氏(山科大学准教授)

専門分野 都市デザイン学 都市計画学 歩いて楽しい町 座りたくなるまち

1. 「連携」によるマネジメントの重要性



2. 目指すべき「組織ルールづくり」モデル

新とよパーク: ホール遊びOK, ストリート遊びOK, 火の使用OK

通常: ホール遊びX, サッカーX, 火の使用X



3. ウォーカブルへの取組



社会実験

イベント時は人が多か! ステップ → 騒音問題

日常的には少な... ヨカ! 遊ば場

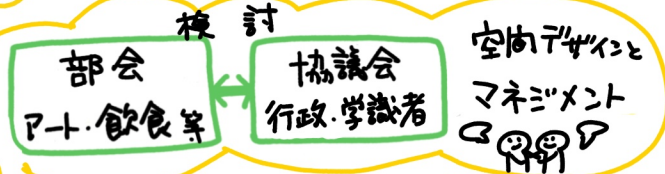
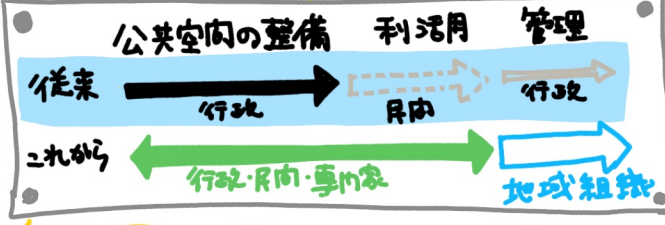
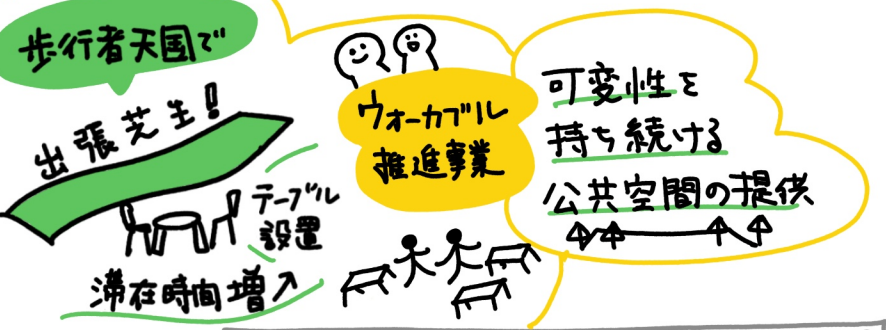
トランポリン人気!!

AIカメラで 利用者ネットワーク 利用者増↑

5. エリアビジョンが生み出す連鎖反応



- 重要ポイント①
1. 未来ビジョン 重要
 2. 関係づくり 時間のかかる/ まちのレジリエンスUP
 3. 団体情報は 行政がもてる



4. スモールエリアからはじまるウォーカブル

重点エリアと準重点エリアの実験

滞留小生・アクティビティ量・回遊性ネットワーク

駐車場 向題

- * 駐車場含むウォーカブル
- * 銀行の駐車場利用 カメラで混雑をお知らせ
- * 新モビリティ道路つくる



4. 目的地を増やす
5. 小情報あつまるセンター
6. 低層部のデザイン
7. 回遊性 スモールエリアの設定